

日米投信概況

**トランプ関税ショックも日本は1か月ぶりの大きな純流入！**  
**米国はエクイティ関連ファンド流出、インカム関連ファンド流入**  
 ～ビットコイン3週連続、バンクローン6週連続、デリバティブ・インカム12週連続の純流入～

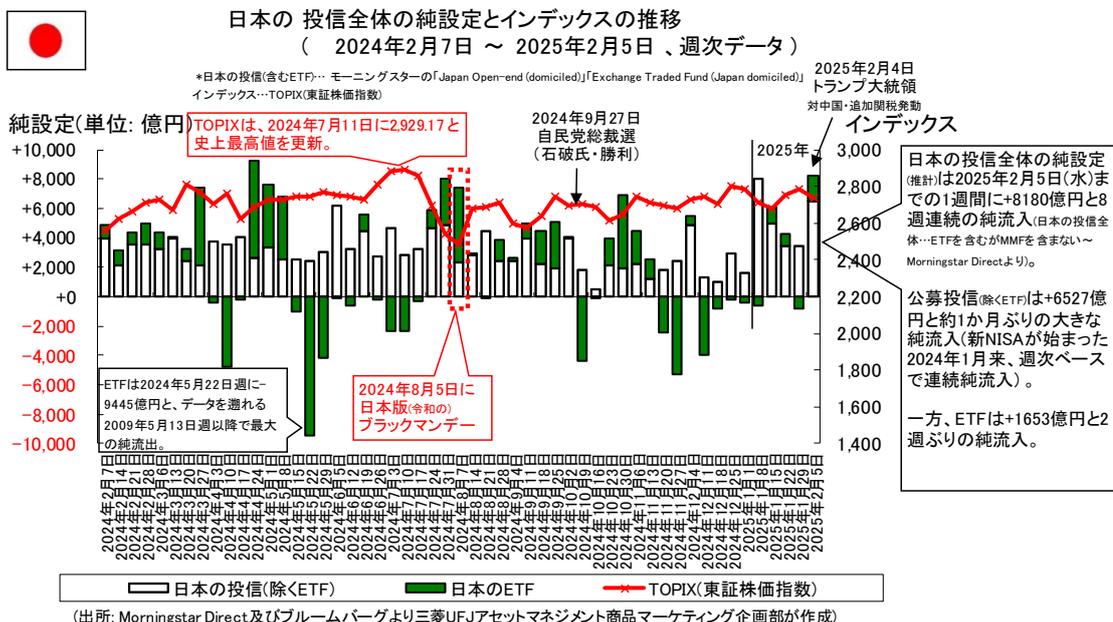
三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本は公募投信に1か月ぶりの大きな純流入！ インド株(ギフトシティ籍)も人気.....p.1
- 米国はトランプ関税ショックでエクイティ関連ファンド流出、インカム関連ファンド流入  
 ～ビットコイン3週連続純流入、バンクローン6週連続純流入、デリバティブ・インカム12週連続純流入～.....p.3

**●日本は公募投信に1か月ぶりの大きな純流入！ インド株(ギフトシティ籍)も人気**

**日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2025年2月5日(水)までの1週間に+8180億円と8週連続の純流入**

(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 **公募投信(除くETF)は+6527億円と約1か月ぶりの大きな純流入**(←1月29日週+3504億円←1月22日週+3493億円←1月15日週+4946億円←1月8日週+8043億円～2009年5月13日週からの週次ベースで最大の純流入、日次では2025年1月8日に+4800億円の純流入～詳細は2025年1月14日付投信調査レポートNo.431～ [https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report\\_250114.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_250114.pdf))。ETFは+1653億円と2週ぶりの純流入となった。



公募投信(除くETF)の最新2月5日週の純設定額+6527億円について分類別に見る。 **純流入1～6位は米国株、グローバル株、日本株大型グロース、グローバル株-日本を除く、グローバル・特定テーマ/セクター株、インド株。** 日本株大型グロースは日経225連動型ファンドなどによる所が大きい。 **インド株は+274億円と週次ベースで昨年2024年7月以来の大きな純流入。** 大和証券が販売、大和証券グループと2023年5月以来資本業務提携しているインドのアンビット・グループ/Ambit Groupが運用する「ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド(大和アセットマネジメント設定)」の1月31日設定額264億円が大きい(新規設定額で2025年1位、2024年来8番目)。 同ファンドは**インド初の国際金融経済特区「ギフトシティ/GIFT City (Gujarat International Finance Tec-City)」**を利用した**日本初の国内籍公募ファンド**(ギフトシティについては2025年1

月27日付投信調査コラムNo.418「日本でETFは金銭信託型とファンド・オブ・ETFにより拡大? 米国やインド等のETF拡大にも奇手～現物設定・現物交換型と金銭設定・金銭償還型ETFとETN～」～ [https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column\\_250127.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_250127.pdf) )



日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

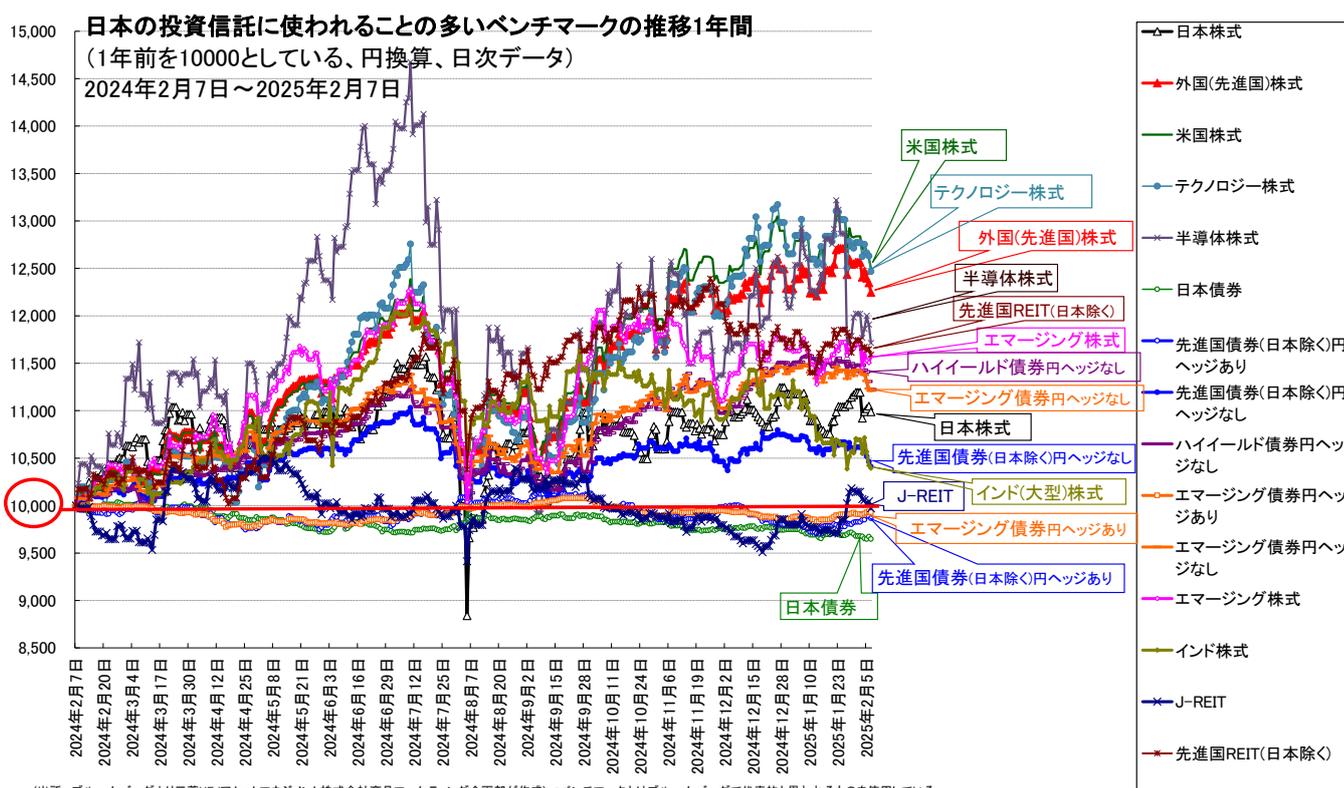
2025-02-05現在

\*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	US Equity	+264,006	+215,593	+884,865	25,046,316	米国株
2	World Equity	+150,050	+97,538	+441,291	19,882,524	グローバル株
3	Japan Large-Cap Growth Equity	+48,038	-52,649	+96,623	6,230,750	日本株大型グロース
4	World ex-Japan Equity	+42,949	+56,077	+154,345	12,910,250	グローバル株-日本を除く
5	World Specialty Equity	+42,846	+7,556	+90,447	13,534,739	グローバル・特定テーマ/セクター株
6	India Equity	+27,397	-6,448	+15,083	2,887,272	インド株
7	Moderate Allocation	+14,806	+9,376	+38,695	3,636,435	モデレート・アセットアロケーション
8	Commodity	+14,774	+14,502	+47,692	1,186,848	商品
9	Trading - Leveraged/Inverse	+14,569	-23,946	+8,871	674,058	トレーディング-レバレッジド/インバース
10	Moderately Aggressive Allocation	+14,510	+16,363	+49,254	4,723,677	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
76	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-1,536	-2,259	-10,196	1,185,661	日本中小型バリュース株
77	Australia & New Zealand Bond	-1,677	-1,193	-5,004	540,501	オーストラリア&ニュージーランド債
78	US Equity - JPY Hedged	-2,050	-2,517	-7,772	655,286	米国株-円ヘッジ
79	World Bond - JPY Hedged	-2,474	-2,904	-6,376	1,770,513	グローバル債-円ヘッジ
80	World Hybrid Security - JPY hedged	-2,474	-2,579	-8,079	299,706	グローバル・ハイブリッド証券-円ヘッジ
81	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,776	-5,183	-13,684	1,765,847	日本中小型グロース株
82	Japan Money Market	-3,119	+2,722	-3,339	35,616	日本マネー
83	Japan REIT	-3,604	-4,575	-11,318	2,033,404	日本REIT
84	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	-3,792	-403	-4,232	255,926	日本中小型ブレンド株
85	Risk Control Allocation	-4,973	-5,363	-13,300	1,165,852	リスク・コントロール・アセットアロケーション
全85分類の合計		+652,744	+350,380	+1,847,388	141,896,364	
指数名	リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	-1.08	+1.40	-0.88			
S&P500	+0.38	-0.76	+2.49			
MSCI ワールド	+0.54	-0.24	+3.18			

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) \*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

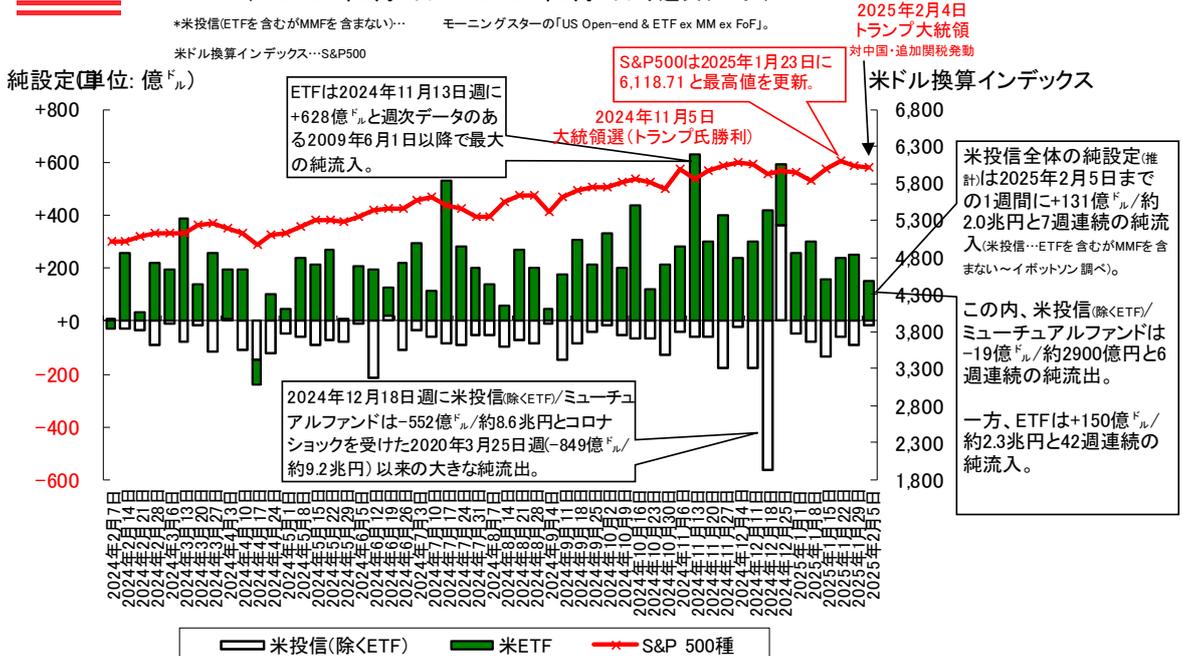
●**米国はトランプ関税ショックでエクイティ関連ファンド流出、インカム関連ファンド流入**  
 ~ビットコイン3週連続純流入、バンクローン6週連続純流入、デリバティブ・インカム12週連続純流入~

**米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2025年2月5日までの1週間に+131億<sup>ドル</sup>/約2.0兆円と7週連続の純流入**  
 (米投信…ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。 **米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-19億<sup>ドル</sup>/約2900億円**  
**と6週連続の純流出。** 一方、**ETFは+150億<sup>ドル</sup>/約2.3兆円と42週連続の純流入**(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアル

ファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その39「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増!」~ [https://www.am.mufg.jp/report/investgate/column\\_21127.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investgate/column_21127.pdf) )o



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移  
 (2024年2月7日 ~ 2025年2月5日、週次データ)



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

\*米Morningstarが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2025年2月5日週の投信全体(含むETF、除くMMF)純設定額を分類別に見る。 **米国株は-66億<sup>ドル</sup>と3週ぶりの純流出で**  
**昨年2024年6月12日週(-135億<sup>ドル</sup>)以来8か月ぶりの大きな純流出**、**セクター株は+11億<sup>ドル</sup>と4週連続の純流入**、**外国**  
**株は-22億<sup>ドル</sup>と5週連続の純流出**、**債券は+178億<sup>ドル</sup>と4週連続純流入**で週次ベースでは**2021年2月3日週(+200億<sup>ドル</sup>)**  
**以来約4年ぶりの大きな純流入**、**オルタナティブは+30億<sup>ドル</sup>と3週連続の純流入**。一方、**コモディティは-3000万<sup>ドル</sup>**  
**と3週連続の純流出**。

投資対象をより細かく分類別に見る。純流入1~10位は、**米国超短期債(ウルトラショート・ボンド)**、**米國中長期コアプラス**  
**債**、**米国短期債**、**米國中長期コア債**、**ビットコイン等デジタル資産(3週連続純流入)**、**米国バンクローン(6週連続純流入**  
**2025年1月29日週は2022年4月6日週以来の大きな純流入)**、**米国ハイイールド債**、**マルチセクター債**、**デリバティブ・インカム(12週連**  
**続純流入で2025年2月5日週は2009年6月3日週以来のデータで最大の純流入)**、そして、**金融株**。 **純流入上位は債券ファンドなどイン**  
**カム関連ファンドばかりである**(ビットコインと米国バンクローンは2025年1月27日付投信調査レポートNo.432「日本はNISAが寄与して1月既に+1兆6500億円(1月効果)! 米国はビットコインやバンクローン&CLO ETFに

純流入!」~ [https://www.am.mufg.jp/report/investgate/report\\_230127.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investgate/report_230127.pdf) )。 **なお、デリバティブ・インカム/Derivative Incomeは2024年末純資産が387億<sup>ドル</sup>/約6兆円あり**  
**アクティブETF世界1位の「JPMorgan Equity Premium Income ETF/JEPI」(2020年5月2日設定の米国株カバードコール戦略**  
**ファンド、経費率0.35%)による所が大きい**(アクティブETFは2024年12月23日付投信調査コラムNo.416「NISAでETF!? 世界のアクティブETFの品揃え(分類)は今~規制改正&予算編成大綱: iDeCo、NISAつみたて投

資枠でETF、暗号資産、金融経済教育、金融庁体制」~ [https://www.am.mufg.jp/report/investgate/column\\_21125.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investgate/column_21125.pdf) )、**デリバティブ・インカムは2年7か月前の2022年7月11日付投信調査レポートNo.376「米投信週次概況(2022年7月6日週)日本は北米株(米国株イン**  
**デックス中心)純流入1か月ぶりに1位! 米国では債券が4週ぶり純流入! “デリバティブ・インカム”が人気!!」**から当レポートでは注目している。

一方、純流出1～10位は、米国大型グロース株、米国長期国債(6年超)、グローバル大型ブレンド株、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国小型ブレンド株、外国株大型グロース株、ヘルスケア株、グローバル・アセットアロケーション、グローバル大型グロース株、そして、モデレート・アセットアロケーション(株50～70%)。純流出上位は株式ファンドなどエクイティ関連ファンドばかりである。日本で人気のインド株は5週連続純流出。

債券ファンドなどインカム関連ファンドが流入、株式ファンドなどエクイティ関連ファンドが流出する背景には、トランプ関税ショックがある。2025年2月1日にトランプ大統領はメキシコとカナダへ25%の関税、中国に10%の追加関税を課す大統領令/EXECUTIVE ORDERに署名した(2025年2月1日付The White House「Imposing Duties to Address the Situation at Our Southern Border」～ <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/02/imposing-duties-to-address-the-situation-at-our-southern-border/>、2025年2月1日付The White House「Imposing Duties to Address the Synthetic Opioid Supply Chain in the People's Republic of China」～ <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/02/imposing-duties-to-address-the-synthetic-opioid-supply-chain-in-the-peoples-republic-of-china/>)。2025年2月3日にメキシコのシェインバウム大統領とカナダのトルドー首相がトランプ氏による移民と麻薬密輸の取り締まり要請に対して国境警備を強化する事で合意しメキシコとカナダへの実施は1か国延期されたものの(2025年2月3日付The White House「Progress on the Situation at Our Southern Border」～ <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/02/progress-on-the-situation-at-our-southern-border/>)、中国へは2025年2月4日に10%の追加関税が発動。ただ、トランプ大統領は2025年2月5日、少額貨物(800ドル以下)の輸入に対して関税などが免除される「デミニミスルール/De Minimis Rules」適用停止(2月1日付大統領令にあり)は延期している(2025年2月5日付The White House「Amendment to Duties Addressing the Synthetic Opioid Supply Chain in the People's Republic of China」～ <https://www.whitehouse.gov/presidential-actions/2025/02/amendment-to-duties-addressing-the-synthetic-opioid-supply-chain-in-the-peoples-republic-of-china/>)。

2025年2月7日付ロイターは「米株式ファンドは2月5日までの週に5週間で4度目の資金流出を記録した。ドナルド・トランプ大統領の対中貿易関税による地政学的リスクの高まりと、主要テクノロジー企業の予想を下回る利益に対する投資家の警戒感が背景にある。LSEGリッパーのデータによると、投資家は2024年12月18日以来最大の週間売却額となる107億1000万ドル相当の米国株式ファンドを売却した。」(強調下線は当コラム筆者、2025年2月7日付Reuters「US equity funds see sharp outflows in the week to Feb 5」～ <https://www.reuters.com/markets/us/us-equity-funds-see-sharp-outflows-week-feb-5-2025-02-07/>)と報じていた。また、2025年2月4日付ブルームバーグは「トランプ米大統領の関税の脅威を先週、真剣に受けとめていた向きが金融市場の一角に存在した。投機筋だ。ヘッジファンドは5週連続で米国株を売り越した。…(略)…。個人投資家は、トランプ氏が経済や市場を関税がもたらすとされる影響でリスクにさらすことはないと考えていたようだ。JPモルガン・チェースのグローバルクオンツ・デリバティブ担当ストラテジスト、エマ・ウー氏の分析によれば、リテール投資家は1月31日に21億ドル(約3240億円)を米国株に投じた。20億ドルを超える資金流入は過去3年間に9回しか起きておらず、そのうち5回は2025年に既に起きている。」(強調下線は当コラム筆者、2025年2月4日付ブルームバーグ「ヘッジファンド、米国株を5週連続で売り越しトランプ関税に先立ち」～ <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2025-02-04/SRZM50W114800>)と報じている。

米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順)

2025-02-05現在

\*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 Ultrashort Bond	+3,090	+2,037	+11,194	366,018	米国超短期債
	2 Intermediate Core-Plus Bond	+2,226	+125	+1,357	619,404	米国中長期コアプラス債
	3 Short-Term Bond	+2,114	-431	+1,249	350,553	米国短期債
	4 Intermediate Core Bond	+2,077	+367	+3,350	740,291	米国中長期コア債
	5 Digital Assets	+1,946	+602	+4,838	138,832	デジタル資産(ビットコイン等)
	6 Bank Loan	+1,775	+575	+4,042	82,435	米国バンクローン
	7 High Yield Bond	+1,593	+89	+2,942	299,236	米国ハイイールド債
	8 Multisector Bond	+1,487	+702	+3,353	165,349	マルチセクター債
	9 Derivative Income	+1,282	+1,645	+4,962	119,444	デリバティブ・インカム
	10 Financial	+1,064	+1,593	+4,458	107,264	金融株
下位 10 分類 ↓	36 Japan Stock	+129	+420	+471	34,197	日本株
	48 China Region	+31	+165	-539	30,829	中国株
	113 India Equity	-411	-32	-789	17,239	インド株
	114 Moderate Allocation	-444	-501	-1,506	514,180	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)
	115 Global Large-Stock Growth	-508	-498	-1,475	280,261	グローバル大型グロース株
	116 Global Allocation	-586	-166	-1,375	267,816	グローバル・アセットアロケーション
	117 Health	-645	-828	-2,512	128,613	ヘルスケア株
	118 Foreign Large Growth	-772	-670	-2,012	340,047	外国株大型グロース株
	119 Small Blend	-936	+613	-151	502,016	米国小型ブレンド株
	120 Large Blend	-976	-672	+6,459	4,939,323	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	121 Global Large-Stock Blend	-1,244	-669	-2,138	291,353	グローバル大型ブレンド株
	122 Long Government	-1,393	+1,276	+1,451	132,123	米国長期国債(6年超)
	123 Large Growth	-4,020	+3,451	-1,433	2,306,447	米国大型グロース株
全123分類の合計		+13,065	+15,856	+49,360	21,431,439	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-1.08	+1.40	-0.88		
S&P500		+0.38	-0.76	+2.49		
MSCI ワールド		+0.54	-0.24	+3.18		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mami1-kubota@am.mufg.jp](mailto:mami1-kubota@am.mufg.jp) )。

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### 本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



## 三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会